

**@cosmeコンシューマーレポート**  
**「2009年アイメイクレポート ～つけまつ毛の使用実態を探る～」のご案内**

この度、つけまつ毛使用実態を中心としたアイメイク化粧品に関する調査レポート「@cosmeコンシューマーレポート 2009年アイメイクレポート ～つけまつ毛の使用実態を探る～」を作成いたしましたので、ご案内いたします。

本レポートは、株式会社アイスタイルが運営する美容情報専門クチコミサイト「@cosme(アットコスメ)  
<http://www.cosme.net/>」の会員を対象にインターネットリサーチを実施した結果をまとめたものとなります。

**レポート詳細**

発行：株式会社アイスタイル  
発刊日：2009年2月  
版型：A4版・42ページ  
価格：¥150,000-(PDFファイル)

**調査概要**

調査手法：インターネットリサーチ  
調査対象者：15～49歳の@cosmeプロデュースメンバー 3000名(年代により6セル×500名設定)  
18～24歳 25～29歳 30～34歳 35～39歳 40～44歳 45歳以上  
調査時期：2009年2月9日(月)～2009年2月16日(月)

**調査内容**

- ・まつ毛パーマ・まつ毛エクステ利用経験
- ・まつ毛の量・長さ・満足度・不満足理由
- ・現使用アイメイク化粧品
- 2009年 アイメイクトレンド
  - ・メイク重視ポイント
  - ・マスカラ重視点
  - ・アイメイク意識
    - アイシャドウでグラデーション作り/2色以上使用/マスカラ重ね塗り/下まつ毛にマスカラ/シーンに合わせてメイクを変える など
  - ・2009年春に使いたいアイメイクカラー
  - ・2009年春に使いたいアイメイクの仕上がり
  - ・なりたいアイメイクイメージ
- つけまつ毛 使用実態
  - ・つけまつ毛使用率
  - ・つけまつ毛を初めて使用した時期
  - ・つけまつ毛使用タイプ
  - ・つけまつ毛使用シーン
  - ・つけまつ毛使用理由
  - ・つけまつ毛使用時のみに使うアイテム
  - ・つけまつ毛のつけ方
  - ・つけまつ毛購入チャネル/購入金額
  - ・理想のつけまつ毛とは? <自由回答>
  - ・つけまつ毛使用者の年代
    - ・つけまつ毛使用者のメイク重視ポイント
  - ・つけまつ毛使用者の現使用アイテム
  - ・つけまつ毛使用者のアイメイク意識
  - ・つけまつ毛使用者のなりたいメイクイメージ

**@cosmeリサーチサービスのご紹介**

株式会社アイスタイルでは、約110万人の@cosmeメンバーのうち、「よりよい化粧品やサービスの開発」に協力していただける「プロデュースメンバー」(約40万人)を対象にリサーチを行う、リサーチサービスを展開しています。  
化粧品に対しアクティブなメンバーであるため、美容関係のことについて、内容の濃い意見を聞くことができ、他社モニターでは集めることのできないような、出現率の低いケースでもモニターを確保することが可能です。

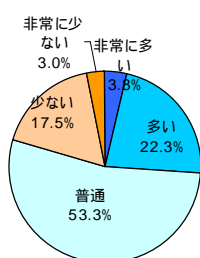
- レポート、またはリサーチサービスに関するお問い合わせ先  
株式会社アイスタイル <http://www.istyle.co.jp/>  
03-5785-8904(TEL) 03-5785-8901(FAX)  
リサーチプランナー 田原 茜 / 西原 羽衣子 [research@istyle.co.jp](mailto:research@istyle.co.jp)

@cosmeコンシューマーレポート  
**「2009年アイメイクレポート ～つけまつ毛の使用実態を探る～」**

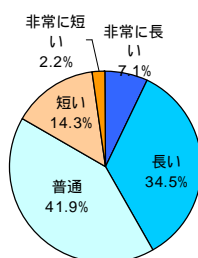
■まつ毛はもっと多く、もっと長く見せたい

➢ 自分のまつ毛の量は多い・普通と考えているのは79.5%、長さは長い・普通と考えるのは83.4%にも上り、深刻に自分のまつ毛を悩む層は少ないにも関わらず、自分のまつ毛を不満に思うのは49.6%にも上る。「量が少ない」「短い」「カールが取れやすい」「下まつ毛の量が少ない」などが悩みとして多い。

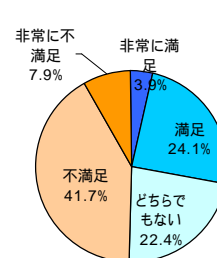
まつ毛の量



まつ毛の長さ



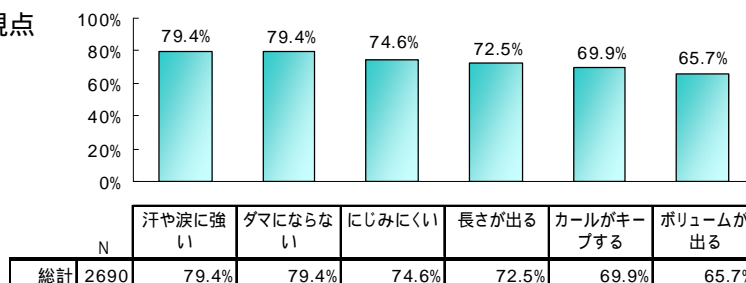
まつ毛の満足度



■マスカラは「ボリューム」よりも「長さ」重視

➢ マスカラに「長さ」を求めるのは72.5%、「ボリューム」は65.7%。若干ではあるが「長さ」が重視されている。マスカラには「汗や涙に強い」「ダマにならない」が求められており、きれいな仕上がりが持続することが重要な様子。

マスカラ重視点



■若年層はアイメイク重視、高齢層はベースメイク重視

➢ アイメイク重視派は全体の60.0%、ベースメイク重視派は29.0%で二極化している。

■アイシャドウは2色以上のグラデーション。アイメイク商品はブランドにこだわらず

➢ 「アイシャドウを2色以上組み合わせている」71.9%、「アイシャドウはグラデーションにして塗っている」66.9%、「アイメイクアイテムはブランドにこだわらず購入することが多い」56.0%。若年層は下瞼にアイシャドウを、下まつ毛にマスカラを塗り、インサイドアイラインを引くなどアイメイクを特に重視している。

■アイメイクのキーワードは「上品」「自然」。カラーは「ピンク」「グリーン」

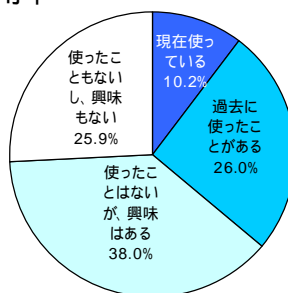
➢ なりたいアイメイクイメージでは「上品」「自然な」の支持が高い。2009年春に使いたいアイメイクの仕上がりで最も高かったのは「上品なパール感のある仕上がり」、次いで「ナチュラル/ヌーディーな仕上がり」。アイメイクカラーでは「ピンク」が最も高く、次いで「グリーン」。

@cosmeコンシューマーレポート  
**「2009年アイメイクレポート ～つけまつ毛の使用実態を探る～」**

■つけまつ毛現使用者は1割、10代が中心

➢ つけまつ毛現使用者の40.3%は10代で、つけまつ毛ユーザーの中心は10代となっている。高年齢層になると使用経験者は減少するものの、興味がある層は4割にも上ることから、ユーザー増加の可能性が感じられる。

つけまつ毛 使用率



■つけまつ毛現使用者は5割近くが普段から使用

➢ 過去使用者も含めたつけまつ毛使用者全体ではパーティなど特別なシーンでの使用が最も多いが、現使用者では普段使いが5割近くにも上る。過去使用者は自分の結婚式など特別なシーンでの数回の使用経験があるのみで、普段から使用しているのは10代の学生が中心

■つけまつ毛は付けていることが分からないくらい「自然」に見せたい

➢ 理想とするつけまつ毛は「わざとらしくなく」「自然」に見える仕上がりのもの。そのためには「自分の目のカーブに合う」「本物のまつ毛と似ている」ことがポイントである様子。「人形のようにボリュームと長さがあるまつ毛」を目指してつけまつ毛を使っているが、もっと自然な仕上がりになるのであれば普段から使用したいと考えられているようだ。

■「手頃な価格」で購入できるのがつけまつ毛である

➢ つけまつ毛は「ドラッグストア」「100円均一ショップ」「バラエティショップ」にて、500円未満で購入する層が大多数を占める。手頃な価格がブームの要因の一つとなったのだろう。

■オーダーメイド大人のつけまつ毛が待ち望まれる？

➢ 自分の目の形に合い、より自然に見えるつけまつ毛が理想として挙げられた。高年齢層には使ったことはないが興味がある層が4割存在しており、高価格帯商品の需要も望めるのではないかと。会社員や主婦からは普段から使える高級つけまつ毛を望む声が挙がっている。